

(道徳)

## まわりとのかかわりを豊かにする道徳学習の創造 —ねらいにせまる発問の工夫—

大阪市立波除小学校 研究部

### 1. 研究主題設定の理由

本校では「人間性豊かな子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、互いを尊重し助け合う子どもを育成するために、日々教育活動を進めている。

本校の児童は、明るく素直であり、人に対して優しい行動がとれる。また、課題や役割などに対して最後までやり遂げようとする力を持っている。反面、考えて行動しようとする力が不足している面もみられる。優しく親切ではあるが、相手を多面的にとらえたり、相手の考えに思いを巡らせたりすることが苦手な児童が少なからずいる。また、言われたから、規則だから、注意を受けたくないからなどが行動の理由になり、行動の本質をとらえられていないところもある。

平成26年度より、研究主題『まわりとのかかわりを豊かにする道徳学習の創造』として、「書く活動」を最重点項目とし、「資料提示の工夫」、「発問の工夫」を重点項目として研究を進めてきた。今年度は、2年目の研究である。

1年目の研究で明らかとなった課題は、「発問の工夫」である。価値の焦点化と心の動きをとらえさせる発問の工夫である。本年度は、副題を「ねらいにせまる発問の工夫」として研究を進める。

子どもたちが心の中を互いに語り合い深め合うこと、また、そのような深まりがある語り合いができる学級集団を築いていくことは、主題である「まわりとのかかわりを豊かにする」ものと考え。道徳の学習の発問の研究を通して、主題に迫っていきたい。

### 2. 研究の内容

#### (1) 研究のねらい

- 道徳の時間の指導を通して、子どもたちの豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自尊感情、他者への思いやり、人間関係を築く力、社会性、主体的に判断し、適切に行動する力などを育む。
- 望ましい集団の形成とその活動の充実を図るとともに、自己の生き方についての考えを深めることにより、互いの違いを認め合い、信頼し合える人間関係を築く。

#### (2) 指導方法の工夫

- ① 資料を提示 ② 発問 ③ 書く活動 ④ 表現活動

#### (3) 重点目標

- ・ ねらいにせまる発問の工夫 市道徳部の「フローチャート図」の活用

### 3. 実践事例

第1学年 わがままな気持ち「かぼちゃのつる」

第2学年 なかよくたすけよう「こまのプレゼント」

第3学年 正しいことは思い切って「あと、ひと言」

- 第4学年 心のこもった礼ぎを「さわやかな学校」  
第5学年 自由と規律ある行動「うばわれた自由」  
第6学年 自分のよさを生かして「天女、再び宇宙へ」

#### 4 研究のまとめ

##### (1) 発問の工夫

- 中心発問を定め、関連する補助発問を準備しておくことで、ねらいとする価値に概ねせまることができた。中心発問と補助発問の構成をを考えておくことは、道徳の授業をつくるうえで有効である。
- 前年度は、心情を問う発問、今年度は、行動や価値を問う発問が多かった。2年間の研究を通して、発問の研究を積み上げることができた。
- 実際の授業では、指導者の予想を超える反応がある。一人ひとりの考えを大切ににして、授業を進めることを心掛けたが、その結果、あと一步「深める」段階に至らなかった授業も多くあった。「深く考える」授業の創造に向けて、さらなる発問の研究が必要である。
- 発問構成を考えるためには、市道徳部が提唱する「チャート図」の活用も有効である。
- ただし、「チャート図」の活用を授業で意識し過ぎると子どもの思考の流れから逸れてしまうことがある。授業は、「めあて」「つかませたい価値」を意識しながら、子どもと共に考えて進める柔軟な姿勢が必要である。

##### (2) 資料提示の工夫

- 場面絵などの活用は、学年の発達段階を問わず、視覚教材として有効である。
- 低学年の読み物資料の提示の仕方は、絵話（紙芝居風）にして、場面を追い提示するほうが効果がある。
- 板書の書き方の工夫や重要事項の強調の仕方は、子どもの思考や理解において必要である。

##### (3) 表現活動の工夫

- 学年の発達段階に応じて、役割演技を取り入れると、学習内容の実感的理解に効果がある。
- 演じる側・見る側の双方がともに学習が高められるよう、ペア学習などの手法も取り入れると効果的な場合があることがわかった。

##### (4) 書く活動の工夫

- 挿絵や吹き出しなどを工夫し、視覚的に子どもが書きやすいものを用意する方が効果的である。
- 書く活動は、1単位時間1回程度が有効であると思われる。中心発問での場面や自分の生活との関連の場面、学習のまとめ（学んだことを書かせる）が適している。書かせる内容によるが、時間の設定の仕方も授業の組み立てとして重要である。